

## 受験生の出発点

君たちは中学3年生になりました。

中学2年生 + 1 = 中学3年生という等式だけならば、「今年もがんばりましょう」でいいのですが、違います。

中学3年生 = 受験生というもう一つの等式があります。ということは、

君たちは受験生になりました。

ということになるのですが、

さて、受験生って何でしょう？

勉強、勉強、勉強…っていう、勉強漬けの1年間と思うかもしれませんが。

でも、それではあまりおもしろくありません。

一言でいえば、「人生の決定権」を持つということです。

これまでは大人が決めたレールの上しか歩けませんでした。

この時代に生まれ、この国で育ち、保育園や幼稚園に通い、そして小学生になり、さらに中学生になり、今、ここにいます。

さあ、次はどうする？

高校生というのがいちばん簡単な答えですが、ほかにも選択肢はいろいろあります。

就職して働く。

立派なことです。ダラダラと高校生活を送るよりも素晴らしいと思います。

プロのスポーツ選手やプロのミュージシャンになる。

誰にも負けない根性、誰にも負けないプライド、生まれもった才能、こういうものがあれば頑張りなさい。応援します。

フリーターになってバイトしまくる。

若いころはいいのですが、将来に不安があります。

ユーチューバーになる。

もういっぱいいます。よほどのネタがない限り、今さら無理です。

やっぱり、高校生になるしかなさそうです。

高校生になる最大の利点は、「人生の決定権」の行使を少し先に延ばすことができるということです。

その高校3年間には、もれなく将来のことをもう少しだけ考える時間がついてきます。

さらに、小学生よりも中学生、中学生よりも高校生、高校生よりも大学生の方が世の中に接する機会が多くなります。

世の中のことがわかれば、自分の将来の選択肢が増えます。

そして、大学生になれば、「人生の決定権」の行使をさらに先に延ばすことができます。

もっとも、大学では専門的なことを多く学ぶので、選ぶ大学によって未来の自分の姿が大きくかわることになるのですが…。

じゃあ、どこの高校に行く？

行きたい高校に行けばいいのです。

でも、それには条件があります。

これが、ほしいものを買うのであれば、「お金」がすべてを解決してくれます。

でも、行きたい高校に行きたいと思っても、「お金」が解決してくれるわけではありません。

これを解決するのが学力です。

学力が高ければ高いほど、行きたい高校の選択肢は増えます。

学力が低くなればなるほど、行ける高校が少なくなります。

じゃあ、学力って何？

これが今日のテーマです。

君たちがこの1年間で立ち向かうテストは次の17個です。

① 5月 1学期中間テスト

---

② 6月 第1回実力テスト

---

③ 6月 第2回五ツ木模試

---

④ 6月 チャレンジテスト

---

⑤ 6月 1学期期末テスト

---

⑥ 7月 第3回五ツ木模試

---

1学期通知表

⑦ 9月 第2回実力テスト

---

⑧ 9月 第4回五ツ木模試

---

⑨ 10月 第5回五ツ木模試

---

⑩ 10月 2学期中間テスト

---

⑪ 11月 第3回実力テスト

---

⑫ 11月 第6回五ツ木模試

---

⑬ 11月 2学期期末テスト

---

2学期通知表

⑭ 1月 実力テスト

---

⑮ 1月 3学期学年末テスト

---

⑯ 2月 私立高校入試

---

3学期通知表

⑰ 3月 公立高校入試

---

「全部がんばれ～」って言うのは簡単なのですが、方法を間違えると、無意味な努力になりかねません。

そこで今日は

「いつ」「何を」「どれだけ」勉強し、「何で」「どれだけ」点数を取ればいいのか。

ということを話します。

ここからは書きません。自分で書きなさい。

自分で書くことで「決意」と「覚悟」が生まれます。

その「決意」と「覚悟」が強くなれば、「学力」は向上します。

「学力」が向上すれば、行きたい高校に合格できます。

行きたい高校に合格すれば…。